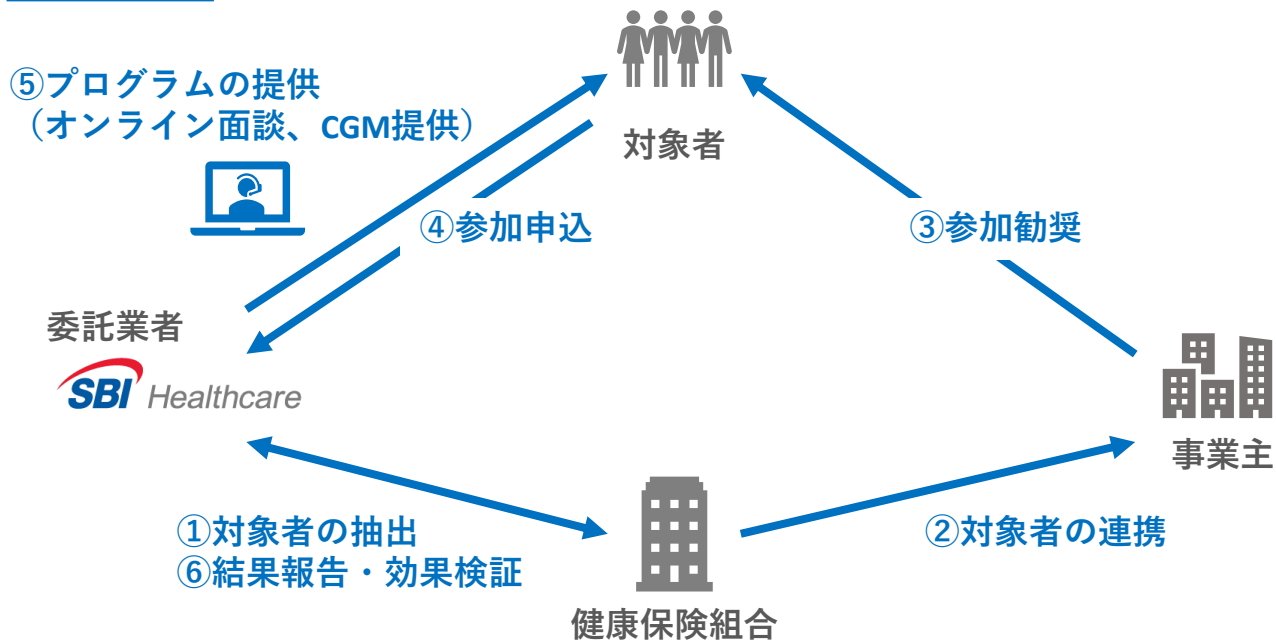


実施背景 目的	糖尿病は、進行すると人工透析や脳卒中、心筋梗塞など別の重篤な病気を発症する場合もあり、本人の著しいQOLの低下や健康寿命の短縮をきたす可能性があります。当健保には糖尿病罹患者が一定数おり、疾患別の医療費についても糖尿病に起因する費用が二番目に多い状況です。組合員の健康改善のため、また悪化による職場離脱の防止の観点からも重症化予防を実施する必要があると考えているが、当健保は事業所が各地にあり、且つ業務の特性上多忙な人が多く保健指導の機会も取りづらいため、対面ではなくICTを用いて組合員の生活スタイルに応じた支援が必要と考えている。
事業内容	本事業は、生活習慣病の重症化を予防すべく数値改善と生活習慣の是正を目指し、専任の管理栄養士（以下、「専門コーチ」という）が期間中マンツーマンのサポートを行うもの。具体的には、期間5カ月のプログラムで月に1回（前半は2週間に1回）のWeb面談と専用アプリ内のタスク管理、食事登録、1on1チャットの活用により専門コーチとの密なコミュニケーションを実施。参加者の自発的な行動を促すためコーチングを用いた支援を行う。また、持続式グルコースモニタリング（以下、CGM）を用いた血糖値の見える化を実施。専門コーチが参加者の生活習慣と血糖トレンドの関係性を把握し、具体的な生活習慣の改善に向けた伴走をすることで行動変容を促すもの。

【事業の特徴】

- ✓ **案内方法**：事業主とのコラボヘルスによる参加勧奨を実施。初回面談日を事業主会議室で同日に設定する等、参加率向上及びスムーズな参加をサポート
- ✓ **専門コーチ**：マンツーマン対応するコーチは管理栄養士（糖尿病療養指導士）が担当。CGMの結果分析にも精通しており、パーソナライズかつ効果的な生活習慣改善のサポートが可能
- ✓ **コーチング**：参加者の自発的な行動を促すためコーチングを活用。離脱防止及びプログラム終了後のリバウンドの低減を目指す
- ✓ **アプリの活用**：定期的なWEB面談に加え専用アプリにて日々の食事・運動の課題を設定。画像解析によるAI食事登録に対する食事指導等、専門コーチとのチャットによるコミュニケーション促進

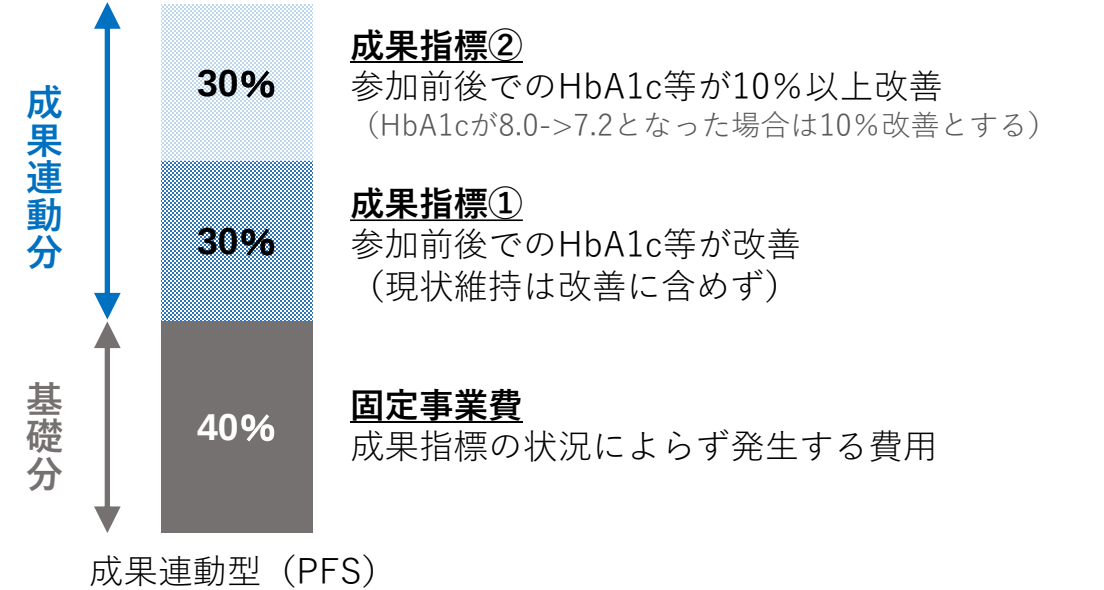
【スキーム】



成果連動指標	1. HbA1cの改善率 2. グルコース管理指標（GMI）の改善率	指標の定義	1. PG参加前後の血液検査によって測定されるHbA1c 2. PGの初期、後半に実施するCGM測定結果から得られるGMI
達成目標	成果指標①：1. または2. のいずれかが、改善していること（現状維持は含まない） 成果指標②：1. または2. のいずれかが、10%以上改善していること 上記の達成状況に応じて成果報酬を設定		

【支払いイメージ】

- ✓ 成果報酬の達成状況により支払いの割合が以下のように変動
- ✓ 過去の実績（他委託業者）としては離脱者や症状が悪化した方も存在していたが、PFSの趣旨を踏まえ、参加率・完遂率等ではなく、実際の改善効果が得られた場合の成果連動分を厚く設定



【スケジュール】

- ✓ 事業年度内の効果検証が完了できるように参加時期等を調整
- ✓ 事業所に対して事業の実施背景・目的を丁寧に説明。参加勧奨において事業所の協力を得られる予定
- ✓ プログラム期間中（5か月）の参加状況は、実施業者より月次でレポートを受領。進捗の確認と必要に応じて参加者へのフォローアップを実施
- ✓ 委託業者とは定期的な面談により実施状況の管理監督を行う

